

第1学年英語科学習指導案

日時 平成21年11月25日(水) 6校時

場所 1年B組教室

学級 1年B組(男子14名 女子11名 計25名)

松原学級(男子1名 女子0名 計1名)

指導者 教諭 佐藤恵

1 主題 Unit8 はじめてのカナダ旅行

2 主題について

①生徒の実態

英語を聞いたり、話したりすることは、積極的な生徒である。しかし、英語を読んだり書いたりすることを苦手とする生徒が多い。授業時間内に本文の暗記ができていない生徒でさえ、時間が経過すると、基本的な語彙や表現を忘れていて、単元テストでも正答できていない。

10月に実施した学習定着度状況調査の結果、領域別では、「聞くこと」の正答率が86.8%、「読むこと」が73.1%、「書くこと」が63.1%であり、「書くこと」が一番低い正答率であった。その中で、最も正答率が低かったのが「状況に応じた英文を書くことができる」で3.8%であった。生徒の答案をみると、無解答も1/3はあったが、記述をしているものの、スペルミス、大文字・小文字、符号のつけ忘れが主な誤答であった。

そこで、授業において音読を徹底して積み重ねることにより、「書くこと」につながる基礎基本的事項の習得を図ってきた。また、家庭学習と授業をリンクさせ、授業の初めに帯活動として、本文の dictation に取り組ませてきた。家庭学習や授業前には、教科書を音読したり、書いたりする生徒も増えており、少しずつ抵抗感は薄れてきているように感じる。

②教材観、題材観

この単元は、絵美、慎、マイク、ジュディの4人が冬休みにカナダにあるグリーン先生の姉夫妻の家で冬休みを過ごすために出発する日からカナダの空港に到着するまでの場面が設定されている。part1では、出発当日の朝、マイクがあわてて物がどこにあるかたずねる場面で"Where ~?"が使われている。part2では、待ち合わせのバス停で、小さなカバンを持ったマイクが、一番大きなスーツケースを持った人が誰なのかをたずねる場面で"Whose ~?"が使われている。part3は、カナダの空港に到着し、有名な人を見つけてその人を知っているかどうかをたずねる場面で him, her という人称代名詞の目的格が使われている。いずれも自然な場面で初出されている。

本単元の where を用いた疑問文とそれに応答する場所を表す前置詞を用いた文は、物の置き場所や人の居場所をたずねたり、それに答えたりすることができる。また、whose を用いた疑問文とそれに応答する mine, yours などの人称代名詞の所有格を用いた文は、持ち主をたずねたり、それに答えたりすることができる。これまでにも wh-疑問詞は what, how many, which, who, what time を学習したが、さらに実用的な表現を増やすことができる。

また、him, her という人称代名詞の目的格を学習することにより、第3者についてさらに表現を広げられ、コミュニケーションを豊かにできると考えられる。

③指導観

言語学習は、繰り返して学習するほど、定着も図られると考える。この単元の言語材料である wh-疑問文とその応答文・人称代名詞については、可能な限り、ペアによる言語活動の練習を多く設定し、定着を図りたい。特に人称代名詞については、この単元がまとめとなるので、Unit 6での人称代名詞の主格も扱いながら、既習事項も含めて確認させたい。

また、生徒の実態から、対話活動を通して相手から聞いた内容や自分が話した内容を英文で書かせることなど、音声面のみで終わらせることなく、「書く」活動を有機的に関連させ、基本表現や既習事項の定着を図りたい。

3 単元の指導目標と評価規準

単元の指導目標	単元の評価規準
<p>・身近なもの（人）がどこにあるか（いるか）対話することができる。</p> <p>・身近なものの持ち主について対話することができる。</p> <p>・人について代名詞を使って対話することができる。</p>	<p align="center">コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (学習に取り組む意欲・態度)</p>
	<p>・場所や持ち主、人について積極的に対話しようとしている。</p>
	<p align="center">表現の能力 (知識・技能の活用力) (知識・技能の習得)</p>
	<p>・場所や持ち主について疑問詞を適切に使って対話している。</p> <p>・人について代名詞を適切に使って対話している。</p> <p>・本文の内容が表現されるように適切に音読できる。</p>
	<p align="center">理解の能力 (知識・技能の習得) (知識・技能の活用力)</p>
	<p>・物の置き場所や持ち主についての本文の内容を聞き、要点を適切に聞き取る。</p> <p>・人についての本文の内容を聞き、要点を適切に聞き取る。</p>
	<p align="center">言語や文化についての知識・理解 (知識・技能の習得)</p>
	<p>・Where や Whose で始まる疑問文の文の形や意味、用法、答え方について理解している。</p> <p>・代名詞の目的格の形や意味、用法について理解している。</p>

4 指導計画

時	学習内容	本時の目標	評価規準	言語活動
1	Unit8-1 本文の内容理解 Where is ~? の表現練習	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を理解し、内容が表現されるように音読することができる。 身近なもの(人)がどこにあるか(いるか)対話することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物の置き場所についての本文の内容を聞いて、要点を適切に聞き取る。(理解)【知識・技能の習得】 場所について疑問詞を適切に使って対話している。(表現)【知識・技能の習得】 	<ul style="list-style-type: none"> 場所についての本文の内容を聞いて、要点を適切に聞き取る。【記録】 身近なもの(人)がどこにあるか(いるか)対話する。【説明】
2	Unit8-2 本文の内容理解 Whose ~?の表現練習	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を理解し、内容が表現されるように音読することができる。 物の持ち主について情報を伝え合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 持ち主についての本文の内容を聞いて、要点を適切に聞き取る。(理解)【知識・技能の習得】 物の持ち主について疑問詞を適切に使って対話している。(表現)【知識・技能の習得】 	<ul style="list-style-type: none"> 持ち主についての本文の内容を聞いて、要点を適切に聞き取る。【記録】 物の持ち主について対話をし、情報を伝え合う。【説明】
3	Unit8-3 本文の内容理解 代名詞の目的格の表現練習	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を理解し、内容が表現できるように音読することができる。 絵の人物たちについての情報を伝え合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人についての本文の内容を聞き、要点を適切に聞き取る。(理解)【知識・技能の習得】 人について代名詞を適切に使って対話している。(表現)【知識・技能の習得】 	<ul style="list-style-type: none"> 人についての本文の内容を聞き、要点を適切に聞き取る。【記録】 絵の人物たちについての情報を伝え合うことができる。【説明】
4	Unit8 代名詞を使った表現活動 本時	<ul style="list-style-type: none"> 自分の知人について代名詞を使って対話することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の知人について積極的に対話している。(意欲・関心・態度)【学習に取り組む意欲・態度】 自分の知人について代名詞を適切に使って対話している。(表現)【知識・技能の活用力】 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の知人について代名詞を使って対話をする。【説明】
5	Unit8 音読活動	<ul style="list-style-type: none"> 内容が表現されるように音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容が表現されるように適切に音読できる。(表現)【知識・技能の習得】 	<ul style="list-style-type: none"> 内容が表現されるように音読する。【説明】
6	まとめと練習 代名詞	<ul style="list-style-type: none"> 代名詞の使い方について理解し、正しく使い分けすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 代名詞の目的格の形や意味、用法について理解している。(言語文化)【知識・技能の習得】 	
7	Listening + 3 海外旅行	<ul style="list-style-type: none"> 空港や機内での対話を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 空港や機内での対話を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。(理解)【知識・技能の習得】 	<ul style="list-style-type: none"> 空港や機内での対話を聞いて、必要な情報を聞き取る。【記録】

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・自分の知人について代名詞を使って対話することができる。(表現)【知識・技能の活用力】

(2) 評価規準及び具体の評価規準

評価規準	具体の評価規準		「努力を要する」生徒への手だて
	A:「十分満足できる」	B:「おおむね満足できる」	
・自分の知人について積極的に対話している。(意欲・関心・態度)【学習に取り組む意欲・態度】	・ペアと協力して自分の知人について、フォーマット以上に対話しようとしている。	・ペアと協力して知人についてフォーマットを使って対話している。	・声をかけて対話を促す。 ・つまづいているところがどこかを把握し、助言する。
・自分の知人について代名詞を適切に使って対話している。(表現)【知識・技能の活用力】	・自分の知人について代名詞を適切に使い、たくさん情報の情報を入れた対話をしている。	・自分の知人について代名詞を適切に使って対話している。	・全体で確認したスキットを振りかえらせる。 ・つまづいているところがどこかを把握し、助言する。

(3) 本時の指導の構想

①指導の構想

言語活動として「自分の知人」をテーマに対話させたい。Unit 6では、三人称単数現在形を学習し、Unit 7では、Who ~?を使った疑問文も学習しているので、既習事項を盛り込んだスキットを作成させたいと考えた。全体でフォーマットを確認し、スキットの流れをイメージさせた後、自作のスキットにつなげたい。

②言語活動について

導入では、教師がスキットを口頭で話し、学習課題を意識させる。

展開では、教師が話した内容についてのスキットの流れを紙板書で確認する。その後、一人の人物を取り上げ全体でスキット作りをすることで、作り方をイメージさせたい。特に人称代名詞が、この単元でひととおり学び終わることになるので、文によって、どの代名詞が適切かを全体で確認しながら進めていきたい。また、フォーマットを音読・暗記をさせることで、対話の流れをつかませたい。

次に、ペアになり、一人の人物を取り上げ、「自分の知人」について、スキットを作成させる。「知人」が思い浮かばない生徒たちがイメージできるように、1家族 2先輩 3友人 4先生 5芸能人・有名人の中から人物を選択させたい。発表が自然な対話となるように、ペアでの音読・暗記に時間をかけたい。発表者に対してのコメントの時間もとり、さらによいコミュニケーションを目指そうとする気持ちも育てたいと考えている。

授業のまとめとして、自分たちが暗記した対話を何も見ずに書かせることで、「書くこと」での定着を図りたい。

4) 展開

段階	過程	学習活動	言語活動 ☆ 評価○ 留意点● 資料◇
導入 5分	1 あいさつ 2 warm-up 3 学習課題把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつをする。 (date / day / weather /time) ・ Warm-up 代名詞の復習をする。 ・ 学習課題を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人にあてて、形式的ではない会話を旨とする。 ◇ 紙板書 (人称代名詞の表) を提示。 ● 人称代名詞の変化を確認させる。 ● 教師の口頭による導入を行い、課題設定につなげる。 ◇ 写真
		自分の知人を紹介できるようになろう。	
展開 40分	4 全体でのスキット作成 5 ペアでのスキット作成 6 スキット発表	<ul style="list-style-type: none"> ・ スキットのフォーマットを使用し、全体でスキットを作成する。 ・ スキットを音読する。 ・ スキットを暗唱する。 ・ ペアで自分の知人についてスキットを作成する。 ・ できたペアから音読練習をし、暗唱につなげる。 ・ ペアで発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 写真と紙板書 (スキット) を提示。学習シートを配布。 ● 全体でスキットを作成する。 ● 対話の流れをつかませる。 ● 暗唱させることで、自作のスキット作成につなげる。 ☆ ペアで自分の知人についてスキットを作成する。 ● 選択できるよう提示する。(1 家族 2 先輩 3 友人 4 先生 5 芸能人・有名人) を提示。 ○ 【学習に取り組む意欲・態度】 ○ 【知識・技能の活用力】 ● 発表者に対して、コメントを促す。
終末 5分	7 本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 9 まとめをする。 ・ 発表した文を何も見ずに書く。 10 振り返る。 ・ 今日の授業を振り返り、自己評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 書くことで、音声と文字とを一致させる。 ● 自己評価を記入させ、発表させる。